



大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階
 TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
 ■会長：大越 将司 幹事：星野 実
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 小倉 光男・会報担当 石田 英世

2023年8月23日(水)
第25巻第7号

通巻第1037号

<http://www.oamirotary.com>
 E-mail : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司
 ソング 手に手つないで
 会長挨拶 会長 大越 将司
 幹事報告 幹事 星野 実
 プログラム

卓話 志学館高等部 陶 彩葉 様
 「高校生インド派遣報告～
 愛とパワーを体感した10ヶ月」

ニコニコBOX

大越会長

- ・夜間移動例会ありがとうございました。泉会員差し入れの丹波の地酒が美味しくてニコニコです。
- ・週末空手の合宿に行って来ました。4年ぶりの宿泊合宿で、子ども達も大変喜んでニコニコです。

齋藤 幸男 会員

誕生祝いありがとうございました。

例会日	8月9日	7月26日
会員数	30	30
出席	15	14
欠席	15	16
M U	0	0
免除	10	9
出席率	83.33%	76.67%

会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。
 本日8月9日は、長崎原爆の日です。
 78年前の今日、午前11時2分に投下されました。
 死者は約7万4千人。広島は約14万人といわれていますので、合計21万人を超える方々が亡くなったこととなります。
 当時の人口が、長崎27万人・広島35万人といわれていますから、長崎・広島は総人口の約1/3がたった2発の原爆で消滅したことになります。
 今考えても、実に恐ろしい兵器です。

現在「原爆の父」として知られる米・物理学者 ロバート・オッペンハイマーの苦悩を描いた映画「オッペンハイマー」が7月21日から全米公開となり、大ヒットしているそうです。

主人公「オッペンハイマー」は、ドイツ系ユダヤ人の裕福な家庭に生まれ、幼いころから神童だったそうです。ハーバード大学を3年で卒業すると、イギリスのケンブリッジ大学、ドイツのゲッティンゲン大学に留学して、物理学で博士号を取得しました。

しかし、時は第二次大戦中。ドイツの核開発を知ったアメリカは、1942年に「マンハッタン計画」を開始、原子爆弾の開発に着手します。ユダヤ人の彼は、チームリーダーに抜擢され、ドイツよりも先に原爆を開発しようと邁進し、1945年7月16日についに世界初の核実験を成功させました。

彼は関係者に、新兵器の破壊力を見せつけることで、その恐ろしさ知らしめようとしたのですが、実際にはそのわずか20日余後に日本に投下されたことを知り、絶望したそうです。なんとも皮肉なことです。

戦後は、核兵器を開発したことを後悔し、核軍縮を呼びかけました。当時は冷戦期であった為、それがあだとなり、赤狩りからソ連のスパイ嫌疑をかけられ、公職追放。晩年は不遇のまま、62歳で生涯を閉じました。その辺りの悲哀が、映画では描かれていることだと思います。

大ヒット中の映画「オッペンハイマー」ですが、私として残念なことが3つあります。

1つは、同日に公開され大ヒットとなっている「バービー」を文字って、キノコ雲をバービーのヘアスタイルに合成し、面白おかしくSNSで表現する「バーベンハイマー」なる現象が起こり、世論の賛否が分かれていること。

2つ目は、この映画に広島・長崎の惨状が描かれていないこと。

そして3つ目は、この映画が日本で上映される予定がないことです。

今年は広島でサミットが開催され、ウクライナ問題も絡めて「核兵器」に大きな注目が集まっております。

原爆が広島・長崎に投下されたことについては、未だに様々な意見がありますが、戦争と核兵器の恐ろしさを知る意味で、この映画が日本でも上映されることを期待しています。

以上で、私の会長挨拶といたします。

人生を変えた奇跡の出会い!



皆様改めましてこんにちは!
今回このような卓話の機会を与えていただき感謝いたします。久しぶりの卓話で少し緊張しておりますが精一杯させていただきますのでよろしくお願いいたします。

私の人生を逆転させるきっかけとなった2つの出来事があります。

1つ目は日本に留学できたことです。

そして、2つ目はロータリー-米山記念奨学生として選ばれたことです。

なぜそう思うのかというと、母国で大学入学に失敗し、未来も希望も失われた私に新たな夢を与えてくれたのは日本です。そして、その夢を実現できるように経済的だけでなく、生活や精神面など数え切れないほどのサポートをしてくれたのはロータリー-米山記念奨学会でした。ほかの奨学金と違ってロータリーの奨学金はお金では買えない友情、愛情、異文化経験や人生の宝物と思えるようなたくさんの出会いを私たち奨学生にプレゼントしてくれています。

そして、ロータリー-米山記念奨学生として選ばれたことは、自分の人生を振り返ったときに後悔のない人生を送るための道を案内してくれているかのように私は感じています。

みなさまとの出会いは約6年前に遡ります。昨日や今日なったばかりの蕾のようだった私をきれいに咲かせて輝かせてくれたのはロータリアンのみなさまです。

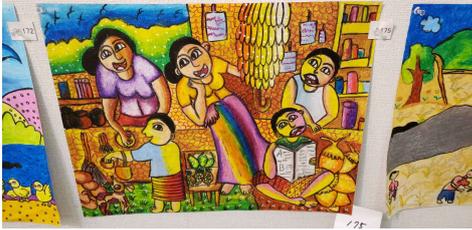
その思い出を感謝と共に振り返りながら、本日の卓話を心待ちしていました。大綱は私の第二の故郷です。みなさまが私の日本の家族だと私は思っています。奨学生だった頃に毎月の例会に参加することは奨学金を頂くだけではなく、帰国出来ず家族に会えない私の寂しさも紛らわせてくれたのです。そのお陰で私は何ひとつ不安なく勉強に集中することができ、結果的に、資格取得や就職はもちろん、成績優等生として大学を卒業することもできました。社会人になってから5年経とうとしています。その間は一度も例会に参加せずとても残念に思っています。本日はようやく皆様とお会いすることができ大変嬉しく思います。今までの時間はあっという間でしたが、私の人生が大きく変わりました。

今までの出来事をさらっと皆様にお伝えしたいと思います。

皆様ご存知の通り私は成田空港でグランドスタッフとして働いています。主な仕事は、カウンターでの搭乗手続きをはじめ、ロビーや搭乗ゲートでの案内業務、空港の利用客や航空機に不測の事態が起こった際の対応などです。入社すぐは上下関係の厳しい職場環境に中々なれずにとっても苦労しました。先輩たちはとても厳しく、研修中はみんな鬼にしか見えませんでした。毎日朝早い時間から日が暮れるまでバリバリ働き、家に帰るとヘトヘトでしたが、若い頃の苦労は買ってでもせよということのを頭に浮かべながら次の日も頑張りました。先輩たちが怖くて泣きそうになった時は、家族や皆様のことを思い浮かべて、泣かないようにしていました。そんな毎日が6ヶ月ほど続き、だんだん仕事や環境に慣れた後、先輩たちは鬼に見えることもなくなりました。その後、辛かった社会人生活にしっかりなれ、入社時の私の目標通りに1人前のグランドスタッフになることができました。

私の人生が大きく変わったと先程少しお話ししましたが、それは母になったことです。皆様方ご存知だと思いますが、今年の10月に我が家の長男が産まれました。現在私は仕事、育休中で子育てしています。新米ママでいろいろ大変ですが、息子の笑顔を見て頑張っています。私が今、このように日本で充実した生活を送っているのは皆様のお陰、そして日本のお陰!ですからどうしても日本の名前にしたいと思い、息子をエイジと名付けました。将来明るくて優しい心を持つ大人になれたらと思っています。

本日は皆様に子供も会わせる事ができ、大変嬉しく思います。過去の思い出を振り返りかえると、私ははじめて例会に参加した日は今でも覚えています。大学の授業があったため例会が始まるギリギリ前に着き、すぐにご飯を食べ、奨学金を頂き帰っていました。残念ながら、最初の日は、皆様とちゃんとご挨拶できなかったことと、とても美味しい料理を頂いたのに全部を食べ切れなかったことは、



3 クラブ合同親睦ゴルフコンペ

開催日 2023年9月8日(金)

会場 成田ハイツリー

住所 香取郡多古町大門659

TEL: 0479-75-1143

プレー費: 17,000円

※懇親会等、詳細は後日ご連絡が来ます。

参加者: 敬称略

高野祐二・石田英世・関谷清一

星野実・小高徹・清宮満巖

吉原久男・西岡毅 8名

ガバナー事務所より 2025年度規定審議会への制定案提出のお願い

2022年4月開催の規定審議会で決議された標準RC定款等の改定は昨年7月に発行しましたが、3年に1度開催の規定審議会の次回が2025年に予定され、制定案の提出期限は、規定(RI細則第7条「規定審議会」050号「制定案と見解表明案の締切日」)により、本年(2023年)12月31日(日)です。

規定審議会は、地区の承認を得たクラブ・地区から提出された制定案(RI定款、RI細則、標準RC定款等の組織規定改定提案)等を、世界各地から選出された規定審議会代表議員が一堂に会して審議・決議するRIの統治機関です。

提出制定案には件数の制約(1地区推奨5件まで)等もあるため、当地区はRI細則第7条「規定審議会」030号「クラブおよび地区提出の立法案の承認」の手続きに先立ち、クラブ提出の提案を地区立法案検討委員会で審議するため、制定案のクラブ提出期限を10月16日(月)とし、以下の手続きでRIに提出します。

①2025年規定審議会制定案提出のお願い(本案内、提出期限:10月16日)

②クラブ提出制定案の地区立法案検討委員会による審査(10月17日~11月15日)

③クラブ提出制定案の地区内クラブ承認取得(11月16日~12月15日)

④RIへの制定案提出(2023年12月31日まで)

皆様のロータリー活動に対する意見・見解をRIに届ける3年に1度の貴重な機会を生かす提案をお待ちしています。

定審議会への議案提出について。

国際ロータリーに我々の考え、意見を提案する方法には下記の2種類があります。

1. 制定案 RI定款、細則、標準クラブ定款の文言を変える提案

…規定審議会に提案する

2. 決議案 RI理事会に検討をお願いする事を提案する(推奨)

…決議審議会に提案する

本年度は前半に上記1の制定案、後半に2の決議案の提案が可能です。

もしも皆さんのクラブに上記の制定案、決議案を提案しようと思う会員が居られる場合、まずは「地区立法案検討委員会」にその内容をご一報ください。

連絡先はガバナー事務所です。

まだ記憶に残っています。次の例会から皆様方の顔を覚えるように、そして、早くご飯を全部いただくようにと心掛けていました。

例会会場は駅から少し離れたところでしたが、毎回カウンセラーの石田お父さん、佐藤お母さんのどなたかが必ず迎えに来て下さいましたことは未だに覚えています。クラブで唯一の女性会員は佐藤お母さんのみでしたので、皆様方を代表してお母さんがたくさんの思い出を作ってくださいました。

いつも佐藤お母さんの高齢者施設に遊びに行き、高齢者の方々と交流したり、ひな祭り人形を飾ったり、施設の家庭菜園収穫を楽しんだり、たくさんの良い経験ができました。それ以外にも卓話同行して頂く際も、お寺参り、ご当地グルメを楽しんだり、イルミネーションを見に行ったりなど数え切れないほど思い出があります。ただ、思い出だけではなく、生活面でも奨学生期間に何度もお世話になり今でもお世話になっております。私を大網ロータリークラブへ受け入れて下さいましたことに皆様へ心から感謝致します。本当に本当にありがとうございます。どんなに感謝してもしきれないと私は感じています。

また、私の後にも何名かのスリランカ留学生を大網ロータリークラブで受け入れて下さったことにも心から感謝いたします。

みなさま方との出会いは本当に奇跡だと私は信じています。何かのご縁があって出会えたのです。奨学金をいただく前の私は大学の友達や先生方以外の日本人との交流する機会がほとんどなかったのです。人生経験が豊かなロータリアンの皆様と出会い、毎月の例会に参加したり遊びに行ったりしていると、気づいていない間に一緒に楽しんだり、笑ったりするだけではなく、皆様が私の家族のような存在になっていました。いつも私を心配して下さいました。嬉しいときには一緒に喜んでくださり、辛いことがあれば、しっかりとアドバイスをし、見守って下さいました。先程も言いましたが、私が今とても幸せに充実した生活を送っているのは皆様方のお陰です。奨学金をいただく前に旦那と2人で大学に通っていたため、経済的にも困ってました。もしあの時奨学金をいただいでいなければ、私は大学中退になっていたかもしれません。皆様方が私の夢を叶えさせてくれる力になり、その夢を現実にする勇気を私に与えて下さいました。感謝の気持ちを言葉にすることは中々できないことですが、感謝の気持ちで心がいっぱいです。

私は一つ約束します。今は奨学生の頃のように毎月お会いすることができませんが、皆様のことを忘れることは絶対にありません。心の中ではスリランカにいる母と父と同じ立場です。最後になりますが、皆様方と過ごせた奨学生2年間は私の人生で忘れられない素敵な思い出に溢れた2年間でした。その時間は二度と巡っては来ない、たった一度きりのものです。皆様方が私の人生の財産です。恵まれた環境にそして、皆様方に感謝しながら深めてきたこの絆を一生大切にします。



いつの日か大変お世話になりました方々や日本に恩返しができるよう、人のために役立つ素敵な人間として活躍することを願ひこれからも努力を続けていきます。どうか私のことを見守ってください。皆様方のご健康を心よりお祈りいたします。ご清聴ありがとうございました。

